

研修名	専門課程 GIS応用〔問題解決能力の向上〕 (平成25年度～27年度まで「GIS中級」、平成28年度「GIS中級〔業務への活用支援〕」)					
目的・重点事項	<p>GISのより実践的な操作を通じて、空間情報の取得方法や地図としての可視化技術を修得し、さらにデータ結合、検索、解析、推計、表示等の専門的・多面的な空間解析を身に付けることにより、職場においてGIS普及の起点となる人材を養成することを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 各自の職場における地理空間情報に関する問題の分析・把握</p> <p>② 地図データ（ベクタデータ）の幾何学的操作、処理及び計量、衛星画像やラスターデータの解析、統計データと地図データの結合等の専門的な技術を、演習を通じて修得</p> <p>③ 演習成果の発表及び意見交換を行い、一層の研修効果の向上</p>					
対象者	<p>国土交通省、他省庁、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等又は団体の職員でGISの専門的な知識を必要とする者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>① GISの基礎的な操作ができる者</p> <p>② 国土交通大学校が実施したGIS系研修を修了した者</p> <p>③ ①又は②と同程度の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	他省庁	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	9	1	4	1	1	16
研修期間	31.0時間 5日間			平成29年7月10日(月)～ 平成29年7月14日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(7.5) (オープンソースGISをめぐる社会の動向、マイクロジオデータの利用、最近のGIS活用事例等)</p> <p>2. GIS実習(12.0) (無償GISソフトウェア(QGIS)を使用して、空間分析に必要な空間データの入手、座標変換、空間データの結合、地図と属性データの結合、検索、バッファ、抽出とオーバーレイ等のファイル操作、空間インデックス付与、ベクタ・ラスターデータの幾何学処理と解析処理、統計データ処理等)</p> <p>3. 課題研究等(9.5) (演習を通じた職場の問題分析・解決方法の提案、総括質疑)</p> <p>4. その他(2.0) (入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス)</p> <p style="text-align: right;">計 31.0</p>					
前年度からの 主な変更点	<p>・名称変更(GIS中級〔業務への活用支援〕→GIS応用〔問題解決能力の向上〕)</p> <p>・定員減(25人→16人)</p>					
担当	測量部 測量新技術研修官 (TEL: 042-321-0957)					
備考	テキスト代(予定) 10,000円					